

- ハイレベル現代文（新高3生）
- スタンダード現代文（新高2・3生）

The★WorkShop

ハイレベル現代文

TEACHER：小柴 大輔 先生

この講座は、「書き言葉としての現代文を読み書きする原理・理論・方法」の解説と「知識モノ（漢字・文学史・四字熟語）」小テストの2本立て！その上で、国公立大学・早稲田・上智・明治・立教・青学・中央・法政・学習院レベルの問題を扱います。そこから春のスタートにふさわしい良問を選んでいきます。難関大にこそ良問も多いのです。入試問題は、まさしく大学の顔です。もちろん、今の学力ではなく、上記の大学をめざす高い意欲が大事。書き言葉としての現代文を正しく読めるようになるには、一貫した方法による指導が必要です。なお、文章問題と知識モノ小テスト（漢字・文学史・四字熟語）の2本の柱で授業は構成されています。

これは現代文解法のプロフェッショナルによる講座なのです。

担当の小柴先生よりメッセージ

こんな人におすすめ！

◎アプローチ現代文継続受講者の方



スタンダード現代文

TEACHER：小柴 大輔 先生

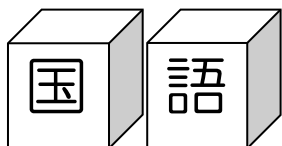
「入試現代文」のベースをつくる講座です。書き言葉としての現代文が本当に読めるようになる基本的な読解力と記述力を獲得するための授業をしていきます。ことばとことばの関係、文と文の関係、言い換え、論理を理解し、表現するためには一貫した方法にもとづく指導が絶対的に必要です。気がつけば、毎日数万語の日本語をしゃべっていても、書き言葉としての日本語は別モノですよ！現代文解法のプロフェッショナルが良質な入試問題を素材に指導致します。

現代文はセンター試験でのみ必要という国公立大理系志願者も歓迎です。なお、文章問題と知識モノ小テスト（漢字・文学史・四字熟語）の2本の柱で授業は構成されています。

担当の小柴先生よりメッセージ

こんな人におすすめ！

◎春期講習からの受講者の方



ハイレベル古文

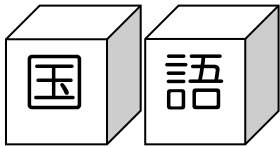
TEACHER：朝倉 吏 先生

- 最難関国公立・私立大学の現役合格を目指すための【基礎力 習得】を目的とした講座です。
 - テキストは、最難関国公立・私立大学の過去問が中心となります。記述式・選択式どちらであっても、同じ読み方であることを実感しつつ、解答に至るまでの手順を手に入れることが目標です。
 - たとえ最難関大学であっても、解答を導くための方法論は【基礎力】以外のなにものでもありません。その【基礎力】とは、主に「単語・文法・構造把握」の3点です。これらを俯瞰することが、春期講習の最大のポイントです。
 - なお、春期講習ではアプローチ講座に引き続き、ジャンルの特徴についても学習します。ジャンルの特徴を早い段階で学習することは、文章を全体で捉える視点の習得につながり、1年間の古文学習がより有意義なものになる効果が期待できます。春期講習からの受講も大歓迎です！
- ※扱う問題が異なるため、早期に実力をつけたい人は、『スタンダード古文』との同時受講もおススメです！問題の重複はありません。

担当の朝倉先生よりメッセージ

こんな人におすすめ！

- ◎最難関大学（旧帝大・早稲田大・上智大・GMARCH）の現役合格を目指している人
- ◎ハイレベルな読解問題に取り組み、古文読解法を習得したい人



スタンダード古文

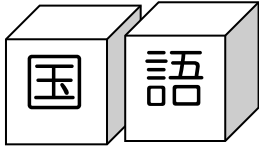
TEACHER：朝倉 吏 先生

- 難関国公立・私立大学の現役合格を目指すための【基礎力 習得】を目的とした講座です。
- テキストは、センター試験の抜粋問題と難関私立大学の過去問が中心となります。選択式の問題への向き合い方を把握することが目標です。
- 「センター試験の古文」は、【基礎力】が重要なカギになります。その【基礎力】とは、主に「単語・文法・構造把握」の3点です。決して「簡単なレベル＝センター試験レベル」ではありません。正しい勉強法・正しい読解法が問われる試験だと思ってください！
- したがって、文系生はもちろんのこと、センター試験のみで古文が必要な国公立理系生も春期講習からの参加をオススメします。
※早期に実力をつけたい人、記述式にも挑戦したい高3生は、『ハイレベル古文』との同時受講がオススメです！問題の重複はありません。

担当の朝倉先生よりメッセージ

こんな人におすすめ！

- ◎難関大学の現役合格を目指すために、古文読解法を基礎から学びたい人
- ◎国公立理系志望などのセンター試験のみで古文が必要な人



古文文法(映像)

<60分/全15回>

TEACHER: 朝倉 吏 先生

- 基本文法を網羅し、文法問題のみならず古文読解にも活かすことを目指した講座です。
- 「古文文法」攻略のポイントは【カタチの把握】に他なりません。どのような点に着目するのか、どのように判断するのかを、厳選した入試問題の演習で、確実に身につけていきましょう。
- この講座は、Part 1 ～ 3 の3セットで構成しています。自身の学習進度に合わせて、受講することができます。

◆講義内容◆

Part1

- ① 活用形<基礎>/動詞
- ② 形容詞・形容動詞/係助詞
- ③ 接続助詞/助動詞「き・けり」/助動詞「ず」
- ④ 助動詞「つ・ぬ」/助動詞「たり・り」/識別「ぬ・ね」
- ⑤ 助動詞「る・らる」/識別「る・れ」

Part2

- ① 助動詞「す・さす・しむ」/活用形<実践>
- ② 2種類の「なり」/助動詞「めり」
- ③ 識別「なり」/識別「に」
- ④ 助動詞「べし・まじ」/助動詞「まし」
- ⑤ 助動詞「む・むず・じ」/助動詞「らむ・けむ」

Part3

- ① 識別「なむ」/識別「らむ」/識別「し」
- ② 格助詞/副助詞
- ③ 終助詞/呼応の副詞
- ④ 敬語(1)<種類・訳出・敬意の方向①>
- ⑤ 敬語(2)<敬意の方向②・特殊な敬語>